

令和4年7月15日
四国運輸局交通政策部

「徳島県・四国旅客鉄道(株)・徳島バス(株)」が国土交通大臣表彰受賞！

－令和4年地域公共交通優良団体大臣表彰－

国土交通省では、地域公共交通の確保・維持に積極的に取り組み、顕著な功績のあった団体に対して、地域公共交通優良団体国土交通大臣表彰を行っております。

このたび、今年度の受賞者が決定し、四国運輸局管内から「徳島県・四国旅客鉄道(株)・徳島バス(株)」が受賞し、下記のとおり表彰式を行うことといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 日 時 令和4年7月22日(金) 14:00～
2. 式 場 国土交通省共用大会議室(中央合同庁舎3号館10階)
3. 受 賞 者 徳島県・四国旅客鉄道(株)・徳島バス(株)

【功績概要】

交通資源の総動員に向けた議論を行うことでバスと鉄道の連携を強化し、利便性を向上させるためのパターンダイヤの導入及び独占禁止法特例法に基づく共同経営計画作成・運賃の一体的運用を実現するなど地域公共交通の確保・維持に積極的に取り組んだ。

4. 添付資料 ・ 令和4年受賞者名簿
・ 「徳島県・四国旅客鉄道(株)・徳島バス(株)」取組概要

<参考> 同時プレスリリース

・ 国土交通省「令和4年地域公共交通優良団体大臣表彰について」

【お問い合わせ先】

四国運輸局 交通政策部 交通企画課

担当：木村・広瀬

電話：087-802-6725

令和4年地域公共交通優良団体大臣表彰受賞者名簿

令和4年7月22日

国土交通省

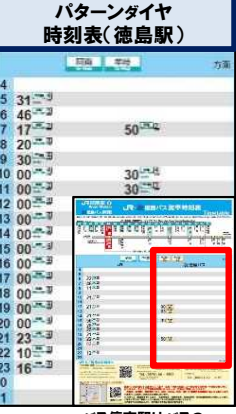
ふりがな 受賞者名	功績概要	現住所
あきたけんみたねちよう 秋田県三種町	住民共助組織の立ち上げ等を主導し住民がくらしの足を自分ごととして考え支える仕組みを構築することで町内全域の交通空白地を解消する「ふれあいバス」及び「巡回バス」の運行を実現するなど地域公共交通の確保・維持に積極的に取り組んだ	秋田県山本郡三種町
こものちようちいきこうきょうこうつうかいぎ 菰野町地域公共交通会議	定時定路線型バスをオンデマンド交通「のりあいタクシー」に転換するとともにMaaSシステム「おでかけこもの」を開発し地道な周知活動を実践することで利用者増加及びweb予約率の向上による運行効率化を実現するなど地域公共交通の確保・維持に積極的に取り組んだ	三重県三重郡菰野町
とやまけんひみし 富山県氷見市 とくていひえいりかつどうほうじんやしろちいきかつせいかきょうぎかい 特定非営利活動法人八代地域活性化協議会 とくていひえいりかつどうほうじんよかわだにちいきかつせいかきょうぎかい 特定非営利活動法人余川谷地域活性化協議会 とくていひえいりかつどうほうじんかみしょうだにちいきょうぎかい 特定非営利活動法人上庄谷地域協議会	地域住民を会員とする住民主体バスを市内全域で導入するとともに全世帯一律の費用負担等地域の実情に応じた安定的な収入を確保するための仕組みを構築することにより長期にわたり路線維持を実現するなど地域公共交通の確保・維持に積極的に取り組んだ	富山県氷見市 富山県氷見市 富山県氷見市 富山県氷見市
しんきばすかぶしがいいしゃ 神姫バス株式会社 ひょうごろうこうのうぎょうきょうどうくみあい 兵庫六甲農業協同組合 ひょうごけんさんだし 兵庫県三田市	三者の協働・連携により貨客混載を実施し農産物の輸送手段を確保することで地域経済の活性化に寄与するとともにバス路線の収支改善を実現するなど地域公共交通の確保・維持に積極的に取り組んだ	兵庫県姫路市 兵庫県神戸市北区 兵庫県三田市
とくしまけん 徳島県 しこりよかくてつどうかぶしがいいしゃ 四国旅客鉄道株式会社 とくしまばすかぶしがいいしゃ 徳島バス株式会社	交通資源の総動員に向けた議論を行うことでバスと鉄道の連携を強化し利便性を向上させるためのパターンダイヤの導入及び独占禁止法特例法に基づく共同経営計画作成・運賃の一体的運用を実現するなど地域公共交通の確保・維持に積極的に取り組んだ	徳島県徳島市 香川県高松市 徳島県徳島市
きょうどうけいえいすいしんしつ 共同経営推進室	独占禁止法特例法に基づく共同経営の全国初の認可を受け重複するバス路線の移譲や協調運行による需給バランスの調整及び待ち時間の平準化を行い利便性の向上を実現するなど地域公共交通の確保・維持に積極的に取り組んだ	熊本県熊本市中央区

徳島県・四国旅客鉄道(株)・徳島バス(株)

徳島県内の地域旅客運送サービスの持続的な提供を可能とするため、同県のリーダーシップの下、重複するバス路線の効率化を行いつつ、協議会の構成員が鉄道やバスなどの交通モード間連携(モーダルミックス)を推進することで利便性の向上を図っている。



徳島県



バス停車駅はバスのダイヤも時刻表に明示

(取組の概要)

1. 多様な主体の実質的参画

- ◆ 協議会には、県の観光・教育・福祉部局及び県下市町村など、**幅広い関係者が参画**
- ◆ 地域別分科会には、公共交通事業者に加え、地域住民や学生なども参画。**県がリーダーシップを発揮して**利用者のニーズを細かく把握(県内5エリア×年2回開催)

2. 創意工夫

バス路線効率化の際、利便性が低下しないよう**モード間連携を強化し、交通資源を総動員**

(1) 幹線バスの鉄道駅への接続

鉄道駅の接続利便を向上させるため、徳島県が幹線バス事業者と調整を行い、南小松島駅にバス路線を徹底接続(接続する市内バス路線の運送収入は**12%増加**)

(2) バス及び鉄道におけるパターンダイヤの導入

JR牟岐線、JR徳島線、JR高德線、JR鳴門線及び徳島市営バスにおいてパターンダイヤを導入し、**分かり易く乗継ぎし易いサービスを実現**

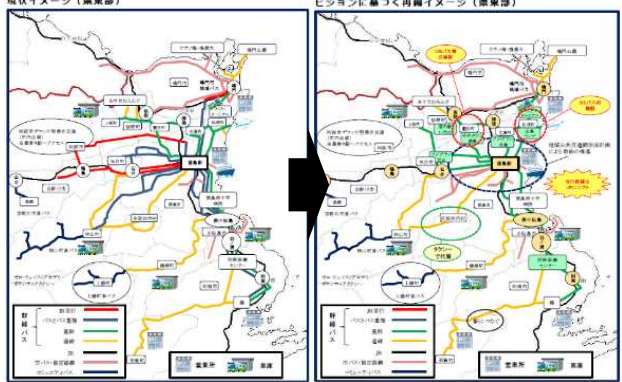
(3) バスと鉄道の乗継ぎ環境の整備

駅やバス停へのデジタルサイネージの設置、待合所や駐輪場の整備を行うとともに、**バスと鉄道が連携した時刻表**を掲出

(4) 高速バス下道区間の途中乗降の可能化(並行モード連携モデル)

- ・JR牟岐線の運行本数の減少を受け、**徳島バスが「室戸・生見・阿南大阪線」の阿南駅～甲浦間のバス停の途中乗降を可能**とし、県南部の地域旅客運送サービスを維持
- ・更なる利便性向上を目的として、**徳島バスとJR四国が独占禁止法特例法に基づく共同経営計画を作成し、両モードの運賃の一体的運用を実現**

路線再編前後のイメージ



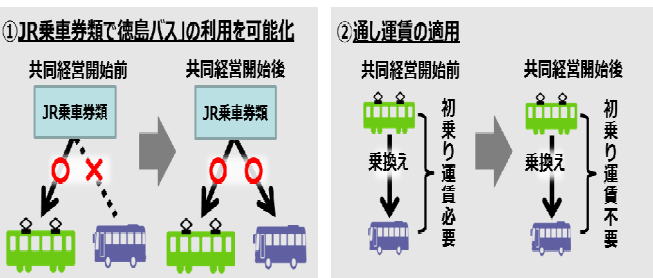
JRとバスが連携したポケット時刻表

鉄道駅	バス停	時刻
阿波海	甲浦	7:39
浅牟	浦	7:44
牟日和	波	7:52
阿波海	川	8:17
浅牟	浅	8:21
牟日和	牟	8:29
阿波海	牟	8:44
浅牟	和	8:46
牟日和	波	8:46
阿波海	南	9:13
浅牟	阿	9:13
牟日和	南	9:35
阿波海	阿	9:30
浅牟	南	9:41
牟日和	南	9:41

3. 自立性・継続性

- ◆ 県が教育・観光分野の交通ニーズを的確に捉え、協議会において議論を重ね、構成員である交通事業者が協力の上、利便性向上策を実施。定期的に開催される地域別分科会において進捗状況を共有・協議し、更なる利便性向上策を実施。
- ◆ 徳島バス及びJR四国の共同経営など、協議会の把握したニーズを踏まえて**交通事業者が公的支援に頼らず利便性を向上させ、経営力向上に取り組んでいる。**
- ◆ 南小松島駅へのバス乗入れやJR牟岐線のパターンダイヤ導入(H31.3)により、バス-鉄道の乗継ぎ利便性が向上し、導入区間の**利用者が1.4%増加**した。

徳島県南部の共同経営(並行モード連携モデル)



(阿南駅の例) 同じ運賃体系で利用可能な交通サービス

今まで	これから
阿南発(牟岐方面)	阿南発(牟岐方面)
12:21	12:21
14:21	13:03
15:50	14:21
19:22	15:33
22:12	15:50
	19:22
	19:58
	22:12